

第9期高崎市高齢者あんしんプラン（案）概要版

1 趣 旨

本計画は、老人福祉法及び介護保険法に基づき、「高齢者福祉計画」と「第9期介護保険事業計画」を一体として策定するものです。

2040年を見据えつつ、高齢者福祉と介護保険分野において今後3年間で取り組むべき事項を定めることで、人と人、人と資源が世代や分野を越えて繋がり、地域に暮らす人たちが共に支えあう地域社会を実現していくことを目的としています。

2 計画の期間

2024年度から2026年度までの3年間を計画期間として策定します。

3 基本理念

本市では、これまでも多くの市独自施策を展開してきました。本計画では、「待つ福祉から出向く福祉へ」を合言葉に、積極的に地域を訪問している高齢者あんしんセンターを地域包括ケアシステムの推進拠点として位置付け、より高齢者に寄り添った施策を展開することで、引き続き『いつまでも安心して暮らせるまち 高崎』の実現を目指します。

4 基本方針

基本理念の実現に向け、「元気に暮らし続けること」、「安心して暮らし続けること」、「住み慣れた地域に住み続けられること」、「必要なサービスが必要な時に受けられること」これら4つの視点をもとに、次の通り基本指針を定めます。

I 元気に暮らし続けるためのいきがい・健康づくりの促進

高齢者自らが健康づくりや介護予防の実践に積極的に取り組み、生きがいを持って地域や社会で活躍し続けられるよう、多彩な学びの機会の提供やボランティア活動への支援、就労の機会の確保など、高齢者の活動機会の充実に取り組みます。

II 安心して暮らし続けるための相談・支援の充実

だれもがどんな時でも住み慣れた地域で暮らし続けていけるよう、「住まい」や「医療」「介護」「予防」「生活支援」が切れ目なく提供される地域包括ケアシステムの構築を進め、誰もが共に支え合う地域づくりの実現に取り組みます。

III 住み慣れた地域に住み続けられるまちづくりの推進

高齢者が適切な住まいを選択できるよう住環境の整備を進めるとともに、災害対策や移動支援なども充実させていきます。また認知症への社会の理解を深め、共に生きていく社会の実現を目指します。

IV 持続可能な質の高い介護サービスの提供

高齢者数のピークとされる2040年を見据えつつ、特別養護老人ホームなどの施設整備や在宅サービスの充実に取り組むとともに、介護保険制度の持続可能な運営に向けて、介護給付の適正化や介護人材の確保のための取り組みなどを進めます。